

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年12月12日(2019.12.12)

【公開番号】特開2019-180746(P2019-180746A)

【公開日】令和1年10月24日(2019.10.24)

【年通号数】公開・登録公報2019-043

【出願番号】特願2018-74614(P2018-74614)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 0 4 B

【手続補正書】

【提出日】令和1年10月29日(2019.10.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技媒体を用いた遊技が可能な遊技機であって、

遊技を制御可能な遊技制御手段と、

遊技の進行に応じて遊技媒体を付与する遊技媒体付与手段と、

前記遊技媒体付与手段によって付与された遊技媒体の数に関する情報を表示可能な情報表示手段と、を備え、

前記遊技制御手段は、特定事象の発生に応じて遊技が不能な遊技不能状態に制御可能であって、

前記情報表示手段は、前記遊技不能状態に制御されているときにおいても前記遊技不能状態であることを認識可能な態様にて前記情報の表示を継続する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

手段Aの遊技機は、

遊技媒体を用いた遊技が可能な遊技機であって、

遊技を制御可能な遊技制御手段と、

遊技の進行に応じて遊技媒体を付与する遊技媒体付与手段と、

前記遊技媒体付与手段によって付与された遊技媒体の数に関する情報を表示可能な情報表示手段と、を備え、

前記遊技制御手段は、特定事象の発生に応じて遊技が不能な遊技不能状態に制御可能であって、

前記情報表示手段は、前記遊技不能状態に制御されているときにおいても前記遊技不能状態であることを認識可能な態様にて前記情報の表示を継続する、

ことを特徴としている。

さらに、手段 1 に記載の遊技機は、

遊技媒体を用いた遊技が可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、

遊技を制御可能な遊技制御手段（例えば、C P U 1 0 3 が図 5 に示す特別図柄プロセス処理を実行する部分）と、

遊技の進行に応じて遊技媒体を付与する遊技媒体付与手段（例えば、遊技球が第 1 始動入賞口や第 2 始動入賞口に入賞したにもとづいて 3 個の賞球が払い出される部分や、遊技球が一般入賞口 10 入賞したにもとづいて 10 個の賞球が払い出される部分や、遊技球が大入賞口に入賞したにもとづいて 14 個の賞球が払い出される部分）と、

前記遊技媒体付与手段によって付与された遊技媒体の数に関する情報（例えば、ベース値）を表示可能な情報表示手段（例えば、表示モニタ 2 0 7 S G 0 2 9）と、

を備え、

前記遊技制御手段は、特定事象の発生（例えば、図 9 - 2 に示す遊技停止エラーの発生）に応じて遊技が不能な遊技不能状態に制御可能であって（例えば、遊技停止エラーの発生を示す遊技停止フラグがセットされたことにより C P U 1 0 3 が図 1 0 - 1 に示す S 2 1 ~ S 2 7 の処理を実行不可能となる部分）、

前記情報表示手段は、前記遊技不能状態に制御されているときにおいても前記情報の表示を継続する（例えば、図 1 0 - 1 に示すように、遊技停止エラーの発生を示す遊技停止フラグがセットされても C P U 1 0 3 が 0 1 1 S G S 3 0 4 の性能表示処理を実行することで表示モニタ 2 0 7 S G 0 2 9 においてベース値の表示が継続される部分）ことを特徴としている。

この特徴によれば、遊技不能状態においても、情報を確認することができる。